

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的な環境のもとで、日常生活の介護及び心身の機能訓練を行うことにより、利用者の自立支援をします。	○	心身の機能訓練の充実をいせんのび、今後、知識を得る学習を行い、利用者へ支援をしつづけます。
2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	明るく家庭的な雰囲気作り。 ・利用者の尊厳と人権らしさを生活が送れるおかげサービスの内容の充実にかかっています。	○	・今後とも取り組んでいきます。
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域の文化祭や祭りには車椅子で参加、見学をさせて頂いています。地域の人達も心良く受け入れて下さっています。	○	/
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	一緒に帰ったスタッフが写真をお届け。 近隣の人達が野菜を届け下さいます。早朝	○	・今後とも交流を深めていきます。
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	施設内所時や、年間の行事(「流しやうめく祭り」「敬老会」) 地域の老人会、保育園児を招待して、一緒に行く交流を深めています。	○	/

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・利用者から育て、収穫したへちま、ヒヨウタンを地域の人にプレゼントをして、喜ばれました。	○	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・自己評価・外部評価は行った感でした。	○	今回の自己評価を基に、今後は改善に取り組めます
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・会議を開きましたが、意見は出ませんでした。経過報告や施設の様子を見させて頂きました。	○	・意見を出して頂き、それを活かせるように働きかけます。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・「地域福祉を考える」の集いに参加。 ・行方市福祉事務所の担当者に行き来して、指導をいただいています。	○	・行き来する機会をつくるようにしていきます。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・茨城県社会福祉協議会 「ここが知りたい地域福祉権利擁護事業」 「地域福祉権利擁護の2011」 成年後見制度の概要について、資料に学習	○	・学習はしましたが、必要の人に支援できるだけの知識はありませぬ。今後、神栖市社協様に指導をのたまいたいと思います。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	「高齢者虐待について」学習会 ・介護用上下フック（ワスターロック）の使用方法について話し合い。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	「重要事項の説明」を行い、理解を 得るため契約を行っています		
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・ 日常のコミュニケーションを図ることで、 相談、不安、思いや気持ち等を聴く ように心がけています	○	
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・ 家族が来所された時に報告を しています ・ 電話で報告をする時もあります	○	・ 入居者の全家族には、個人の 報告がされているものの、定期的 に「おたより」を発行したり、 検討をしています
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・ 「重要事項説明書」に運営方針及び 苦情申し立て内容を記載しています ・ 家族等から「感謝しています」の言葉 は、いたたけますが、本音は伝わりません	○	・ 「家族会」の場を設け、設 け、安楽に意見や不満、苦情等 が話せるようにし、運営に反映 させている
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議を毎月1回以上開 いています	○	
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・ 休日の思い、通院、入退院に 合わせて、必要は職員を確保 しています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・日数をかけ、引き継ぎも行っています	○	
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・研修会・実践講座等、出席しています	○	・勤務調整をして、多くの職員が交替で研修等に参加する機会を確保していった
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	〈佐城県内〉 ・全国認知症グループホーム協議会事務局(株)ほむけあひせま 〈全国〉 ・リenkよ(講座・シホジラム) ・バナホーム・エイジングライフ友の会	○	・今後も機会があるときは参加し、勉強もしていく予定です。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・職員の休憩室を別棟に設置。 ・親睦会を行っています		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・有資格者は主任手芸集交浴しています	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人と少しづつ会話をし、探っていく	○	何度も、何の会話でも、いっしょに笑ったりし、安心した、住みやすい場所にする
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の要望、ほび、不安な事を入所時に、良く聞く様に心掛ける	○	かた若しは、何でも話せる様な、分団気作りをし、笑顔で対応し受けとめる努力をする
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他のサービスの情報提供も行っています。		地域資源(インフォーマルサービス)の情報を得て、利用する様にしたい
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	一人でいる事のない様に、声かけし安心していられるような場所である様に、少しづつ慣らしていただく	○	家族の方とも話し合いながら工夫していく
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	昔話したしたりした時に、本人の若い頃の事が、見えて来たりして、納得することや、喜怒哀楽を共にすることができる	○	今、出来る事を、お願いしたりして自分が少しの時間でも、充実して満足できる様共に過ごしたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族に安心して、いただける様な、祈りにしていきたい	○	楽しく、笑える様な事や、遊び、歌趣味など、みい出していく。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族に対し、理解を深め、気楽に話し合える様に心掛けています	○	家族と、職員一同、関係を、もって介護していきたい
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なるべく、面会に来ていただくり、電話していただき、思い出したりする様にしている	○	家族、友人等の、面会を多く、来下る様にする
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士が、他の利用者に対し、やさしく話す事がある。介護者も、その人に対し態度を子す	○	利用者同士、できることは助け合う、気持ちがある姿がみられているので、それに対し援助していく。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	行事がある時には、案内を送ったりしている	○	行事の案内状を送ったりしている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「子供の頃と同じように、弟と一緒に暮らしたい」との希望を聞き入れ、東棟に入居していましたが、弟さんを部屋替えをして、西棟の本人の隣りの部屋へ引越せしめ、大変満足しました。	○	・言葉づかいの希望や意向の把握は難しいのが、できる限り把握できるように取り組んでいます。
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・ケアマネジャーや医療関係等、看護士、介護士等、情報を得ています。	○	
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・他の入居者との交流は、あまり行わず、部屋ごとにもちろんかちみ人には興味をもつ事を話しかけたり、さそったりしています。(裁縫が好きで人一倍の手作り洗濯物など)	○	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・入浴が嫌いで月に1回位で済んだ利用者様が週に2回入浴するようにになりました。(話し相手の人と一緒に更衣室へ誘導)	○	
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・見直しはうまく対応できていません。	○	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録に記入し、情報を共有し、介護に役立てている	○	介護計画の見直しに活かしたい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 ^の の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	介護スタッフの専門性に活かして地域貢献をはかりたいが、人員不足で十分に取り組めない	○	今度検討してみたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	利用者の徘徊のヒヤリハット 一人の利用者が施設に居ない事につき、警察、消防、近隣の人に捜索の協力をいただきました。(施設そばの竹やぶで無事発見)	○	
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービスは利用していない	○	他のサービス種類の情報を得て活用につなげていきたい
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	神栖市地域包括支援センター(神栖市社会福祉協議会)権利擁護の支援サービス利用をしている利用者が多いので、ご指導をいただいています	○	今後も引き続き勉強をしながらかつ協働していきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけの病院がある ・ 病院を変える場合(地域の病院に変更)は家族も一緒に、最初の受診に立会って、病歴も話ししていた方がいいです。	○	定期的に受診し薬をいただいている
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医に受診している ・ 受診の際には、本人に聞かぬ限りは、まず事は、本人をして持参するようにしています。日常生活の様子など異変があれば、良く話しをし、相談をする	○	〃
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	異変があれば、良く話しをし、相談をする	○	日常の様子を良く観察し変化に応じた様にする
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・ 状況を把握しておき、スムーズに事が運ぶように心掛ける ・ 入院した場合は担当医から病状の説明も直接受け、退院日取りの相談もしています。	○	情報交換、知識を身につけ援助していきたい
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・ 終末期の人は、いまいち。	○	今後に備えて、学習していきたい。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・ 今後に備えて、「ターミナルケア実践講座」受講。 機会があれば、今後も受講し、勉強していきたい。	○	ターミナルケアの勉強をし、知識を得ていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	家族の方に充分に話し もつようにし、職員の接 し方にも気をつける	○	にこやかに過ごせる様 分国気作りをする
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	利用者の、記録をし、1人1人の ケアに役立てている	○	ケアをするに、プライバシーを損ね ないよう手かけ対応し、変化 があったことは、今後のケアの為 記している
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよ うに支援をしている	自分(本人)の思いや、希望が表れ せる様、話したしながら、昔話した したりして、気持ちをひらいていく、	○	話すべく話して、気持ちを、か んでいく様にする
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	一人ひとりのペースを大切に して過ごさせてあげたいが、 そうもいかないので、現実です。	○	一人ひとりのペースと言うのは、わか りが難しいが、利用者の声に専 傾け、努力していきたい
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	理容師さんが来荘してくる	○	続けて来ていたため、希望の 方は利用する。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の仕分けや、皮むきなど、時間にゆとりをとり、あずけ、手伝っていただく。	○	出来る方には、その人のその日の、状況を見て、手伝ってもらう様に何か手伝ったという楽しみを、一緒に作ってきたい。
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつなどは、何が好きな、聞いたりして、たまにそんな物を炊いたり、手作りしたりする	○	本人の望む物とばかりはいかからないが、ほめるべく好きな様な物を炊き、楽しく過ごせる様にしていきたい。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	時間を決めてはいないが、その間もほめるべく、声かけしている。	○	気持ちよく、こちらよくほめてあげたい様に、トイレでできる方は、失禁のない様に、早めに誘導していきたい。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員の数もあり、毎週、曜日は決まっています。	○	これから寒くなるので、入浴自体、寒い時でも、希望の方には、入浴だけできるようにしていきたい。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼の間は、ほめるべく眠らない様に、声かけ、外気浴、散歩などでできる人には、していただいている。	○	薬の服用
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	できる方には、お話しをしながら洗濯のため、皮むき、苺の水やりなど、喜んで、してくれている	○	何か、もつとその人に合った楽しみをみんもらって、見い出して、取りこんでいきたい。


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持している人は、数人ですが買物に外出したりする時などは、注意している	○	今のままの状態では、出来るように援助していきたい。
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ほかほか自分の希望が言えぬ人は、少ないが職員がいる時には希望で、外出することもある	○	本人の希望にそえる様に、皆さんと協力して、時間をとりたい
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	時期ごとの、催し物、イベントに出来るだけ外出できる様にする。	○	四季、ありありの見学、催し物などみんなで、行ける様に、楽しみを作りたい
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話が自分で、使える方には依頼があれば使用していただいている。	○	電話がかけられない、手紙がかけられない、たりする人が少ないが、今の状態が維持できる様に、援助していきたい
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会人(家族、知人、友人等)などが訪問時には、他の利用者には迷惑がなければ、好きな所(ホール、部屋)で面会していただく。	○	職員も、かた苦しくならない様に接する。家族の方などには、状況報告し、気がついた面会も気軽に話していただく。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	できる限りしつこい様に、心掛けてはいるが、その人の身の安全の為には、やむを得ない場合もある 「身体拘束について」職員で話し合いを行いました。	○	身の安全を考慮をしたうえで、良い方法にしていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる	敬人の利用者が、帰宅願望が 強い為、午前中、夕方、夜も 鍵を付けてしまっている。	○	何か、集中できる物、洗濯など 度々お話し。お預りする事もある 興味のある話をしてたりする
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しなが ら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握 し、安全に配慮している	・落ち着かない様子の時は、 声かけを多くし、利用者どうし 会話できる様をめざしています。 ・都度居室ときは、時々、 ^{お話しします} 安全確認	○	夜は巡回をよくして様子をみる。 日中は、自配りを十分にし会話 して、興味のある物に目をむけて いく。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのでは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	その人に ^{お話しします} 危いと思つ物は、 家族に相談し預かる その事を家族の方に話してもいい	○	危険を防ぐ為、危いと思 われる物は持たせまい様 にする
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒防止、 面会時のタバコ、 誤薬 夜間の巡回	○	車イスにのブリキの確認 面会人のタバコの後始末 薬の服用時
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全て の職員が応急手当や初期対応の訓練を定期 的に行っている	定期的には行っていい	○	何かあった時には、あわてて しまふと思うので、対応していい 様にしていきたい
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を 問わず利用者が避難できる方法を身につ け、日ごろより地域の人々の協力を得られ よう働きかけている	・避難訓練は行いましたが、 身につく程の訓練にはなって いません。産業文化祭には、職員が 木32階2階に いし、地域の人々の協力は得ら れず、協力して 協力しています。	○	・今後も引き続き、地域活動に 協力をし、災害時には施設に 協力を得らぬように働きかけ ていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて 家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大 切にした対応策を話し合っている	家族とのコミュニケーションをとり、 今後のケアに対応していきたい		家族と共に利用者の状況を 把握し、よいケアが出来る ように進める
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に 努め、気付いた際には速やかに情報を共有 し、対応に結び付けている	朝の状況を良く観察していただき 体調に変化がある様であれば、早 くにバイタルチェックをし、その状況に 応じて対応していく。	○	利用者の、ちょっとした変化も、み かさずの様に、充分な介護に 心掛けていく。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量について理解 しており、服薬の支援と症状の変化の確認に 努めている	副作用などは、まだまだ勉強 不足で、わからない物もある。 薬の、飲み残しはないか、飲み忘れ か、注意を促している	○	薬のことは、まだまだ充分にわ かっていない面もあるので、ここから、 もっと覚えていく様努力する
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解 し、予防と対応のための飲食物の工夫や身 体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	体の動かすことの、少ない方々、自分 だけでは出来ない方々には、いっ しょに声をかけながら、簡単な、手足の 運動や、テレビ体操などをやる	○	薬を服用している人輩いるが、水分補 給が、充分かどうか、食べ物にも 配慮し、軽い運動も、続けていきたい
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎 食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた 支援をしている	毎食後の残留物が、はいか注意し、 夜は、義歯の方は、外して、口腔内を きれいになっている	○	自分でできる方は、歯みがき、うがい をよくし、できない方には、充分に、 注意し、義歯の洗浄、口腔内の 残留物に気を付ける
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食時、ひとりひとりに目をかけ、ど んな物を残しているか、飲み物は飲 んでいるか注意をして、できるだけ、か たよりなく食べる様に援助する	○	バランスのとれた食事作りには、お みかさんや、好んで食していくる様 な物を提供していきたい。 10時、3時のお茶の水分補給にも 配慮している

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	外出時の手洗、うがい、トイレ時の手洗 室内の清掃、食事作り、介助者 手の洗い	○	定期的にインフルエンザ、ノロウイルスに分かりやすいので、十分に、利用者、職員ともに、手洗、うがい ほど注意を払う。
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板の除菌には十分気を つけている。買物して何日も置 かず新鮮な物を使う。	○	生物を扱う事は少ないが扱う 時は、その日に買って来てすぐ使う様 にしている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	自然な風景を楽しみたいので すずきなど入口にある。 定期的にほ(ゴーヤ、カボチャ)などが あり、利用者が楽しんでほがめたい 花なども、きれいに咲いていた	○	利用者や、家族や近隣の人が 慣れみのある物や、楽しめる様な 物、花なども植えていきたい
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の自然の野の花など飾つた りして楽しむ。 好む場所でもくつろいでいたく	○	四季、あつあつの花を飾つたりし、 外に散歩に出て、自然の物も、 取って来て楽しむ
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビが好む人は一人で、テレビに 集中し、お話し好むの人には、ほむべく 気の合う人を誘導して居場所を作つ あげる。	○	毎日が、少くとも楽しく過ごせ る様な、空間作りをしたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	その人に合った居室(畳) ベット、などになっている。	○	転倒したり、転落したりしづらい様に、その本人に合わせている。
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	臭いが、けっこう漂ってしきり事があるの、換気には、充分注意している。温度調節も気をつけている	○	排気の臭いが、しきりに臭えつけていく。 これから寒くなるので、温度調節に注意する
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	福祉住環境の整備を行っています 廊下・トイレ・浴室 --- 手すり 足もと灯	○	足にふいつた足の見られる人には十分に気をつけ、目配りをする (手すりなど利用する)
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	外の空地に、やさしい種類のまき 収穫する楽しみを味わうことにより、 自信を持ってもらう。(農家の人)	○	得意なことや、生かして、その頃の事を思い出し、自分本位の生きがいを感じてほしい。
87 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ウッドデッキがあり、観用植物や花が楽しめる。(利用者から水やり) 木のぬくもりが感じられる	○	目で見て楽しめる。心がほぐる様子物を利用者の見える所に、おいておきたい

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input checked="" type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input checked="" type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input checked="" type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input checked="" type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input checked="" type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input checked="" type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・利用者が安心して暮らしていただけるよう環境作り

・これまでの暮らしを、できるだけ続けられるように支援をします

家族や地域の友達と一緒に行事を楽しんでいたります。特に7月の「夕めん流し祭り」は大人気です